

子どものこころ専門医研修施設群説明書

■ 研修施設群の名称		慶應・杏林・島田療育センター連合 子どものこころ専門医研修施設群
■ 研修統括責任者	氏名	飯野彰人
	所属	島田療育センター 医務部 児童精神科
■ 担当者	氏名	野村健介
	所属	島田療育センター 医務部 児童精神科
	住所	〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1
	TEL	042-374-2071
	FAX	042-372-9363
	E-mail	k.nomura@shimada-ryoiku.or.jp
■ 募集定員	2名（基幹施設である島田療育センターへの常勤として）	
■ 募集・採用方法	書類の送付先	島田療育センター 医務部 児童精神科 野村健介
	応募方法	履歴書および医師免許証の写し・保険医登録証の写し・所属長からの推薦状等の書類を送付
	締め切り	2022年1月31日消印有効 （以後、研修開始年の1月31日消印有効）
	問い合わせ先	島田療育センター 医務部 児童精神科 飯野彰人もしくは野村健介
	採用判定方法	書類選考および面接

■ 研修施設群の特徴

（400字以内で記入、形式は自由）東京都の西寄りの地域（新宿区以西）の研修施設群です。この5つの施設は子どものこころ専門医制度が始まる前から医師の卒後教育において連携してきました。基幹施設の島田療育センターや島田療育センターはちおうじでは我が国最古の療育施設として発達障害を中心とする疾患の子どもに対しての療育が実践されています。園や小中学校等との連携も密であり、困っている現場を直に見ることが可能です。慶應義塾大学病院周産期・小児医療センターでは身体疾患の子どもへのリエゾン診療や心身症、虐待ケースなどを中心に学べます。慶應義塾大学病院精神・神経科では思春期から成人の発達障害を診療が盛んです。杏林大学医学部附属病院精神神経科では精神疾患の併存した周産期の母子の管理や各種の睡眠障害について深く学ぶことができます。このように、それぞれの施設の特徴が際立っており、連携により高度かつバランスのとれた児童精神科領域の研修が可能です。

■ 研修施設群の特徴

慶應義塾大学病院 周産期・小児医療センター
 慶應義塾大学病院 精神・神経科
 杏林大学医学部附属病院 精神神経科
 島田療育センターはちおうじ